

科目名	心理アセスメント基礎				担当者名	細渕 富夫	
	選択						
ナンバリング	25E25D01	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	2年・③
授業内容	心理アセスメントの意義と目的及び心理アセスメントの分類と基本的な手段や手法について解説したうえで、対象者の情報の見極めと適切な判断及び信頼関係の構築やプライバシーの遵守など、心理アセスメントにおける留意点について学習する。						
到達目標	心理アセスメントの意義と目的及び分類と基本的な手順や手法、心理アセスメントにおける留意点について理解する。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	心理アセスメントの意義と目的及び分類について					
	2	心理アセスメントにおける倫理的配慮について					
	3	アセスメント技法Ⅰ（観察法）					
	4	アセスメント技法Ⅱ（面接法）					
	5	アセスメント技法Ⅲ（検査法）					
	6	インフォームドコンセントについて					
	7	カウンセリング技法の原則について					
	8	面接を妨害する要因と記録について					
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準			割合		
	コメントカード	授業を理解し、その概要を適切にまとめ、乾燥・意見を整理できたか			20%		
	レポート	課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			30%		
	試験	問題の正答率			50%		
教科書	沼初枝『臨床心理アセスメントの基礎』ナカニシヤ出版、2020年						
参考図書	河合隼雄『無意識の構造』中公新書、2017年。						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと。						
課題等に対するフィードバック方法	返却時にコメント、解説を行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項	ワークブック等を活用して理解を深める。						
実務経験と資格等	臨床発達心理士・公認心理師として、幼稚園、特別支援学校等で相談相談に従事してきた。						

科目名	心理学的支援法基礎					担当者名	細渕 富夫
	選択						
ナンバリング	25E25D02	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	2年・③
授業内容	心理的支援の意義や目的と心理学的支援法の特徴について概説したうえで、心理学的支援法の基礎的な理論と方法、幼児期における特徴的な心理的問題について考察するとともに、心理学的支援法の実際や心理的支援における留意点について学習する。						
到達目標	心理的な支援法の基礎的な理論と方法、幼児期における特徴的な心理的問題、心理的支援法の実際について理解している。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	心理学的支援の意義と目的について					
	2	心理学的支援法の特徴について					
	3	心理学的支援法の理論と方法について					
	4	心理学的支援法の主要理論					
	5	福祉の中での心理学的支援について					
	6	教育の中での心理学的支援について					
	7	心理学的支援の実際について					
8	心理学的支援における留意点について						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準				割合
		コメントカード	授業を理解し、その概要を適切にまとめ、乾燥・意見を整理できたか				20%
		レポート	課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか				30%
		試験	問題の正答率				50%
教科書	日比野英子『臨床心理学と心理的支援を基礎から学ぶ』北大路書房、2021年						
参考図書	特になし。						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと。						
課題等に対するフィードバック方法	返却時にコメント、解説を行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項	ワークブック等を活用して理解を深める。						
実務経験と資格等	臨床発達心理士・公認心理師として、幼稚園、特別支援学校等で相談支援に従事してきた。						

科目名	人間関係構築力基礎					担当者名	関 香保里
	選択						
ナンバリング	25E25D03	授業の種類	演 習	単位数	1	開講時期	2年・④
授 業 内 容	乳幼児と関わる多様な人の課題を理解し、幼稚園や保育園、認定こども園などの教育・保育施設における現状を解説する。また、対応策を学習する。						
到 達 目 標	保育現場での多様な人との関わりを理解している。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	人間関係と人間関係構築力について					
	2	多様な人間関係について（1）初対面の人との関わり					
	3	多様な人間関係について（2）ネット社会の人間関係					
	4	多様な人間関係について（3）幼児・保護者との人間関係					
	5	多様な人間関係について（4）上司・同僚との人間関係					
	6	コミュニケーション技法（質問力・傾聴力・共感力）					
	7	コミュニケーション技法（平等性・実行力）					
	8	専門職として期待される人間関係について					
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準				割合	
	授業態度	授業への参加意欲・取組姿勢を評価する				30%	
	レポート	課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか				30%	
	各回のリアクションペーパー	振り返りを通して思考を深めようとしているか				40%	
						%	
教科書	適宜資料を配布する。						
参考図書	「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省。フレーベル館						
	「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省。フレーベル館						
	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館						
準備学習	授業に提示する課題をその都度理解し、分からない箇所は調べておく。						
課題等に対するフィードバック方法	添削をし返却する。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	幼稚園主任10年、保育園園長2年、こども園園長1年 保育士資格・幼稚園教諭免許						